豊中市立第十三中学校　43 期生　２年生学年だより

夢無限大

2020(令和２)年８月３日(月)　No.１０

自分が感染しない、人にうつさない、人を濃厚接触者にしないために

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。学級であらためて指導しました。

周辺地域の学校でも感染が確認され、以下のような措置がとられています。

〇臨時休校（２日間）　　〇学級閉鎖（１４日間）
〇患者は出席停止（専門医が回復を認めるまで学校に来てはいけない）
〇濃厚接触者と判断されると出席停止（保健所が指示する期間学校に来てはいけない）

濃厚接触者の判定基準

症状が出た２日前から診断・隔離までの期間に、 「１メートル以内」「両方**または片方**がマスクなし」「１５分以上」 の接触があると、原則として濃厚接触者と判断される。 （最終的に保健所が判断）

国立感染症研究所感染症疫学センターより

十三中では、これまで
「できるだけ密集・密接にならないようにする」
「教師の指示がない限り、基本的にマスクを着けたまま」
「息苦しくマスクをはずしたいときは声を出さない、人と距離をあける」
「移動教室前後や昼食前、清掃後には、手洗いまたは消毒をする」
ことなどを職員たちから指導しています。
これらのことは、自分が感染しないようにすると同時に人にうつしたり濃厚接触者にしないためです。

以下のようなことがないよう、あらためて子どもたちに伝えました。
「大人数でたむろしている（密集・ソーシャルディスタンス）」
「べたべたひっつく（密接・ボディコンタクト）」
「マスクをはずしたままおしゃべりをする人がいる（飛沫感染のリスク）」
「手を洗わず消毒もしないで移動教室で授業を受ける（感染拡大のリスク）」
このようなことがあると、自分自身が感染したり、人にうつしたり、人を濃厚接触者にしてしまうリスクを増やします。特に職員たちが心配しているのは、注意されたにも関わらず、同じことをくり返している人はいないか、周囲から「この人はヤバい（注意されても変わらない）」などと思われている人はいないかということです。
感染する、濃厚接触者になるという不安を、みんなが抱えながら生活しています。無責任な噂が広がると差別や偏見につながりますが、無責任な行動は、自分が感染したり濃厚接触者になるだけでなく、場合によっては自分がマスクをしていないことで、マスクをしている周りの人やその家族の健康・生活・仕事に取り返しのつかない影響を与えるリスクを背負っているのです。今一度自分たちの行動をふり返り、周りの大切な仲間との距離は近すぎないように気をつけながら、みんなが同じ気持ちでできる努力をしていくよう伝えました。